

30 NPOサポートセンター

行動計画記載の内容等
<p>1 NPOの人材育成やNPO立ち上げへのサポート体制を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none">・モデル事業並びに研修カリキュラムを整備し、実施する。
<p>2 NPO、コミュニティビジネスを通じた事業を起こす際にワンストップサービスによる基盤整備を行う。</p> <p>人材育成、資金調達、コンサルティング等のワンストップサービス（ワンドアセンターの設立）</p> <p>シニアコンサルタントの登録増加</p>
<p>3 大学等の教育機関とNPOとの連携による新しい男女の生涯学習のプラットフォーム（基盤）をつくる。</p> <p>大学とNPO、行政、企業、商店街との連携による地域プラットフォームをつくり、学習や活動の機会を増やす。</p> <p>大学生のNPOへのインターンシップを拡大して実施する。</p>
<p>4 NPOの総合情報ソフト（Nポート）を活用して男女平等の社会参画を推進する。</p>

「男女平等参画のための東京都行動計画 平成 16 年度取組実績」

16 年度の具体的取組内容	実 績
	<p>NPOは、あらゆる市民の社会参加を促すことによって、男女共同参画社会を作る最大の道具であるが、NPO担い手の80%近くが女性であり、社会参加の遅れを反映したものである。改善するためには、男女共同参画を可能にする新しいプラットフォームづくりが必要である。</p>
<p>2004年1月にスタートした「NPOサポートセンター東京」のNPO支援事業を発展させる。</p>	<p>明治大学との協働のもとNPO政策大学院開催 テーマ：指定管理者制度への取り組みと課題 第1回 NPO側から見た現状と課題（10月25日） 第2回 行政側から見た現状と課題（11月16日） 第3回 NPOと行政の協働（12月13日） 「としまNPO推進協議会」立ち上げ支援等、東京各地の支援システム整備に協力した。</p>
<p>文部科学省・委託事業の「男女共同参画プロジェクト・男の教育」を推進する。</p>	<p>団塊世代のためのNPO講座の開催（連続3回） 第1回「NPOで自己実現宣言」（2月17日） 第2回「地域に帰る、NPOで働く」（2月21日） 第3回「会社人間がNPOで起業する」（3月1日）</p>
<p>NPOサポートセンター東京のプロジェクトとして「NPO相談室」を設置運営中だが、一層の充実化を図る。</p>	<p>NPO経営相談会の実施（1月～2月） テーマ：NPO設立、基礎、広報、運営、経営、労務 セミナー開催（2月23日） テーマ：NPOマーケティングと広報戦略</p>
<p>「産官学民」地域プラットフォームのモデル地域を増やし充実化をはかる。</p>	<p>以下の地域において、「産官学民」地域プラットフォームの新規モデル構築に向けて、活動を開始した。 豊島区（立教大学・大正大学ほか） 練馬区（武蔵大学ほか）</p>